

特集：難防除雑草の防除対策

- ・ほ場内に侵入すると繁茂し収穫作業への支障や作物の倒伏につながります。
- ・難防除雑草(図1)の早期発見に努め、発見したら直ちに、手取り除草や除草剤散布などで、種子ができる前に確実に防除し、増加を防ぎましょう。



すでに帰化アサガオ類の幼植物が見え始めています!!

図1 県内で確認されている主な難防除雑草



- 難防除雑草の共通的な特徴
- 生育が旺盛
 - 短日性で種子を多量に生産
 - 発生期間・生育期間が長い

・特に、雑草の発生が多い場合は、雑草の種類や葉齢に応じ、茎葉処理除草剤等を適切に使用しましょう(表1)。

◇大豆ほ場での帰化アサガオ類のまん延を防止するため、下記の除草体系を参考に除草しましょう。

[帰化アサガオ類の除草体系の例]

防除手法	時期	留意点等
大豆バサグラン液剤	大豆2葉期 (播種後 19~23日頃)	○液剤(全面茎葉散布処理) ・大豆2葉期確認後、速やかに散布 ・帰化アサガオ類6葉期(つるになり始める頃)までに散布
中耕培土(2回)	大豆2葉期~	・中耕培土(2回)を確実に実施 ・株間に残った個体や培土後に新たに発生した個体を防除するため、バスタ液剤の散布を組み合わせる
バスタ液剤	大豆5葉期~ (7月中を目処に散布)	○液剤(畦間・株間処理) ・大豆の本葉にかからないよう散布 ・帰化アサガオ類全体にかかるよう株元までしっかり散布(つり下げノズル必要) ・処理後に帰化アサガオ類が発生した場合、使用基準の範囲内(3回以内)で防除を繰り返す
手取り除草	~成熟期	・開花中又は結実していた場合、抜き取った株をほ場内に放置せず、ほ場外で適切に処分(ほ場に種子を残さない、用水に流さない)

○帰化アサガオ類の防除体系のイメージ図

大豆生育ステージ	播種 6/1(0)	2葉期 6/20(+19)	4葉期 7/1(+29)	5葉期 7/6(+35)	
防除作業	プロールプラス等 (0)	大豆バサグラン (+19~23)	1回目培土 (+20~25)	2回目培土 (+29~34)	バスタ 7/6~(+35~)

注) 括弧内の数字は播種後日数
※バスタ散布後も発生状況に応じて追加防除や手取り除草を実施しましょう。